



R5年5月1日

過ごしやすい、さわやかな季節になりました。

進級・入園をして早いもので1か月が経ちました。4月は新しい保育者や環境の変化に戸惑ったり、緊張している様子が見られたうさぎぐみの子どもたちでした。天気の良い日には散歩に出かけ、たくさん体を動かしたり触れ合い遊びなどをして保育者と一緒に遊ぶ中で、少しずつ笑顔が見られたり保育者に「これやって」「これちょうだい」等、自分の思いを言葉にする姿が見られるようになってきました。新入園児の友だちも友だちがやっている遊びを見て隣で同じ遊びを始めたり、同じ物を使って遊んでいます。室内ではミニカーを走らせたり、保育者と一緒におままごとでお医者さんごっこ等、好きな遊びを見つけて楽しんでいます。友達との関わりが増える一方で自分の思いが通らないと、玩具の取り合いをして友だちを押ししたり叩いたり、物を投げたりといった行動が出てきています。そんな時には「どうしたかったの」と子どもがしたかったことを聞いて、気持ちを受け止め保育者が代弁しながら言葉で伝えられるようにしています。子どもの気持ちを受け止める事で、自己肯定感を育むことにも繋がっていきます。自己肯定感を高めていくことで忍耐強く、物事に挑戦し「またやってみたい」と前向きな行動が増えていくので、子どもたちの気持ちを大切にしながら関わって行きたいと思います。連休明けは生活リズムを整えながらゆっくり過ごしていきます。



<今月のねらい>

- ・保育者と一緒に遊び安心して過ごす

<行事・活動内容>

- ・園庭遊び(砂場、滑り台、ぶらんこなど)・園周り散歩
- ・室内遊び(見立て遊び、製作、新聞紙遊びなど)・こどもの日の集い
- ・誕生日会 ・避難訓練 ・身体測定

お知らせ

- ・持ち物には必ず名前の記入をお願いします。名前が消えてしまっているもの、記名のないものがあるため、再度ご確認をお願いします。(肌着・ズボン・Tシャツなど)
- ・気温が高くなってきたので、半袖や長袖のTシャツなど、調節しやすい衣服の補充をお願いします。

「あり、みつけた！！」

1歳児の時に「ありんこありりはくいしんぼう」という紙芝居を見てから、ありに興味津々のうさぎ組さん。戸外に出ると散歩中や公園でありを見つけ「あり、あり！！」と大騒ぎしながら動きを観察しています。「この後どうなるんだろう」とありの進む方向を予測し変化を楽しんでいるようです。今度はお砂糖を持っていき、一緒に観察してみようと思います。